

授業科目名	算数科指導法(2100241)		
時間割名	算数科指導法(21106)		
時間割担当	金山憲正		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・1		

授業の目標・概要

小学校算数科教育に関する理論的な基礎知識とその実践的展開力を養うことを主な目的とする。まず算数科教育のねらいと学習指導要領に示された内容とを関連づけて理解することができるようにする。さらにそのねらいや内容を達成させるのに適した問題解決型の授業展開についての基礎・基本や教材研究の仕方などを理解することができるようにする。最終的には自ら学習指導案を作成し、それを基にした模擬授業を行うことによって実践力を高め、授業づくりについての自分の考えをまとめられるようにする。

学習の到達目標

算数科教育の意義と役割， 目標と内容， 学習指導計画・教材研究・指導方法と評価の基本について認識を深める。さらに，見通しを持たせるための教材分析のあり方や算数的活動を取り入れた指導法についての理解を深め，学習指導計画を立てて模擬授業をするなど実践的力をつける。

授業方法・形式

1. 学習指導要領と関連して各学年・各領域毎の内容を要約していく。
2. 具体的な指導について小学校教科書や参考図書等を参照し，実践的に調べる。
3. 算数科教育の課題について広く学んでいく。

授業計画

- 第1回 算数科教育の目標と内容
各学年の算数科教育の目標と内容の関係を踏まえ，学習指導要領のポイントについて学ぶ。
- 第2回 学習指導要領に基づいた学習指導計画
学習指導計画の作成上の配慮事項や単元指導計画，学習指導案の作成について学ぶ。
- 第3回 算数科の目標と問題解決型の学習
問題解決型の授業展開の基本的な段階と各段階における指導者が果たすべき役割について学ぶ。
- 第4回 算数科の指導法と評価
学習指導の方法について理解し，学習指導過程に即した評価のあり方について学ぶ。
- 第5回 指導内容の関連の明確化 - 数と計算領域 -
どの既習内容が基になって「見通し」が持てるのかを明らかにする教材分析について学ぶ。
- 第6回 指導内容の関連の明確化 - 量と測定領域 -
どの既習内容が基になって「見通し」が持てるのかを明らかにする教材分析について学ぶ。
- 第7回 指導内容の関連の明確化 - 図形・数量関係領域 -
どの既習内容が基になって「見通し」が持てるのかを明らかにする教材分析について学ぶ。
- 第8回 低学年における算数的活動とその指導
算数的活動を効果的に取り入れた指導法とその留意点を低学年教材の具体例を通して学ぶ。
- 第9回 中学年における算数的活動とその指導
算数的活動を効果的に取り入れた指導法とその留意点を中学年教材の具体例を通して学ぶ。
- 第10回 高学年における算数的活動とその指導
算数的活動を効果的に取り入れた指導法とその留意点を高学年教材の具体例を通して学ぶ。
- 第11回 考えを出し合ったり練り上げたりする話し合い活動の場の設定とその指導
話し合い活動を取り入れる場面と目的，充実した学習活動が行われるための集団作りを学ぶ。
- 第12回 アニメーションの作成・活用法
パワーポイントやグラフィックソフト、アニメーションの作成方法やその授業への活用法を学ぶ。
- 第13回 模擬授業演習(1)(低学年) 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 模擬授業演習(2)(高学年) 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第15回 授業の総括として，これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し，授業に対する理解度をチェックしていく(30%)。さらに，模擬授業に対する取り組み，学習指導案の作成の緻密さなどを評価する(30%)。さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する(40%)。

準備学習・復習及び授

1. 与えられた課題をテキストや参考書等で調べて解決し疑問点を質問事項として提出したりする。
2. 小学校算数の複数社の教科書を比較して調べ，教材について認識を深める。
3. 『小学校学習指導要領解説 算数編』の指導内容を確認し，学習指導案作成の際に活用する。

履修上のアドバイス及

児童の学習活動が主体的・対話的で深い学びとなるように授業展開するための教材研究はどうあるべきかを常に念頭に置いて授業を観察したり指導案を作成したりすることを心がけてください。

教材・教科書

文部科学省編『小学校学習指導要領解説 算数編』

参考書

中央教育審議会答申，小学校算数（6社）教科書，算数科指導実践集など